

職業能力開発総合大学校 教員 募集要項

(電気設備の設計・評価)

1 募集内容

- | | |
|------------|--|
| 1) 採用日 | 令和9年4月1日 |
| 2) 職位・採用者数 | 准教授 又は 助教 1名
※雇用期間の定めのない正規職員（常勤） |
| 3) 募集分野 | 電気設備の設計・評価
電気設備に関する分野。
住宅・ビル・工場等における電気設備を対象とし、電力設備、工場設備、パワーエレクトロニクス（電力変換技術）等を基盤に、その開発・設計・施工・保全・評価および運用に関する教育・研究を行います。また、電気設備の省エネ化、高度化、デジタル化（監視・制御、エネルギーマネジメント等）に関する分野を含みます。

また、大学等の教育研究機関に限らず、電気設備の設計・施工・保全・評価等に関する実務経験、またはこれらに関連する研究開発、製品開発、設備設計、設備保全等の実務経験を有する方の応募も歓迎します。
(採用後は、「電気設備」ユニットに所属します。)
※ 複数の募集分野を併願して応募することはできません。 |
| 4) 職務内容 | 職業能力開発総合大学校の教員として、総合課程（学士課程）及び職業能力開発研究学域（修士課程相当）の学科・実験・実習、職業訓練指導員の養成・研修、職業能力開発に係る調査研究等を担当していただきます。その他、付随する業務についても担当していただくことがあります。
【担当科目の例】電気設備工学、電気設備施工実習、パワーエレクトロニクス実習、制御盤製作実習、電気工作実習 等（電気工事士試験、電気主任技術者試験の受験に係る補習等を含む） |
| 5) その他 | 職業能力開発総合大学校では、多彩な人材を確保し、大学力・組織力を高めるため、全ての教育訓練・研究分野において男女が均等に参画する機会を確保します。 |

2 応募資格

- | | |
|-----------|---|
| 1) 必須要件 | 次の①から④までの全てに該当する方
① 人格高潔にして、その高い倫理観をもって業務を責任と誠意をもって遂行できる方
② 職務内容について、十分な指導能力を有する方
③ ものづくり教育に関わる優れた技能・技術・科学的知見を有する方
④ 教員として中核的な人材になり得るための業績を積む意志がある方 |
| 2) 准教授の要件 | 次の①又は②のいずれかに該当する方
① 博士の学位を有し、応募する専門分野に関する実務（教育・研究）経験があり、かつ、大学又は事業所等の勤務経験が通算15年以上* ¹ ある方
② 博士の学位を有し、大学における専任講師又は助教の経験が15年以上* ¹ ある方 |
| 3) 助教の要件 | 次の①又は②のいずれかに該当する方
① 博士の学位を有する方（取得見込みの方を含む。）
② 修士の学位を有し、応募する専門分野に関する職務、教育・研究等の実務経験があり、かつ、採用後に博士の学位を取得する意思のある方 |

*1 修士課程及び博士課程の在籍期間を勤務経験年数に含むものとします。

※ 当機構の規定により、実務経験の内容等が応募職位の要件に該当しない場合は、書類選考時にご連絡します。

3 待遇

1) 契約期間	任期の定めなし（雇用期間の定めなし）
2) 試用期間	採用の日から6か月間（試用期間中も待遇は変わりません）
3) 給与	当機構の職員給与規程に基づき、実務経験等を考慮して決定します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>【教授の参考例】 採用予定日に52歳、大卒後博士課程を修了し、その後、募集分野に関連するフルタイムでの実務経験がある場合 － 採用初年度：770万円程度、採用2年度目：870万円程度</p><p>【准教授の参考例】 採用予定日に45歳、大卒後博士課程を修了し、その後、募集分野に関連するフルタイムでの実務経験がある場合 － 採用初年度：700万円程度、採用2年度目：790万円程度</p><p>【助教の参考例】 採用予定日に35歳、大卒後修士課程を修了し、その後、募集分野に関連するフルタイムでの実務経験がある場合 － 採用初年度：580万円程度、採用2年度目：650万円程度</p></div> <p>※ 募集期間時点の給与関係規定による試算です。 ※ 年収は、俸給月額（俸給+地域手当）及び賞与（令和7年度実績：月額4.65か月）による試算です。 なお、採用初年度の賞与は、4月以降の8か月間の勤務として計算しています。 ※ 別途、給与規程に基づき、該当者には下記4）の諸手当が支給されます。 ※ 60歳に達した日後の最初の4月1日以後、職位により俸給月額の減額措置があります。</p>
4) 諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当等
5) 昇給	年1回（55歳に達する年度まで）
6) 賞与	年2回（令和7年度実績 4.65か月）
7) 勤務場所	職業能力開発総合大学校（東京都小平市小川西町2-32-1）
8) 勤務時間	8：45～17：00（※1か月単位の変形労働時間制の適用あり）
9) 休憩時間	12：15～13：00
10) 時間外労働	あり（令和6年度実績 月平均6.6時間）
11) 休日・休暇等	週休2日制（土曜・日曜）（※1か月単位の変形労働時間制の適用あり）、国民の祝日、年末年始（12月29日から1月3日）、年次有給休暇（年間20日）、特別休暇（夏季、結婚、忌引、産前・産後等）、育児休業制度、介護休業制度等
12) 福利厚生	各種社会保険（健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険）、財形貯蓄制度等
13) 定年等	次のとおり段階的に定年年齢を引き上げる予定としています。 令和 9年度～令和10年度 63歳 令和11年度～令和12年度 64歳 令和13年度以降 65歳 ※ 定年後、希望により70歳までの再雇用制度あり。
14) 受動喫煙防止措置	屋内禁煙

4 応募方法

1) 応募書類

- ①履歴書（JEED指定様式）
- ②教育研究業績書（JEED指定様式）
- ③主要論文別刷り（3編程度、査読付き論文（学位論文は不可））

- ※ 採用内定者には別途、大学・大学院の卒業・修了・学位授与等の証明書、職歴に関する在職証明書等の提出を求めますので、予めご承知おきください。
- ※ 日本国以外の国籍を有する場合は、「在留資格」、「在留期間」、「資格外活動許可の有無」等について別途確認を行う場合があります。
- ※ 応募書類は返却いたしませんので、ご了承ください。また、提出していただいた個人情報は、当機構の採用活動及び採用後の雇用管理情報以外の目的に使用することはありません。
(採用に至らなかった方の個人情報は、選考終了後、情報漏洩のないよう適切な方法で破棄します。)

2) 提出方法

上記の応募書類①～③は、次の手順により、電子データでご提出ください。

【手順1】ファイル名の設定

- (イ) 履歴書、教育研究業績書の**ファイル名を次のとおり変更**してください。
 - ・職業大教員応募【履歴書】(氏名).docx (Wordファイル形式で提出)
 - ・職業大教員応募【教育研究業績書】(氏名).docx (Wordファイル形式で提出)
 - (ロ) 主要論文別刷りを**1編ごとにPDFファイル化し、ファイル名を次のとおり変更**してください。
 - ・職業大教員応募【主要論文●】(氏名).pdf (PDFファイルで提出)
- ※ 「●」は、1～3の数字（4編以上提出する場合はその数字）としてください。

【手順2】提出用クラウドサービスを使用して提出

次のURL（提出用クラウドサービス）にアクセスし、画面の指示に沿って応募書類をアップロードしてください。アップロードが正しく完了するとアップロード完了画面が表示されます。

<https://jeed-box.ent.box.com/f/835b0f2836674cbebfde899081b40aef>

3) 応募締切日

令和8年9月24日（木）まで

- ※ 募集要項とともに「応募書類提出用マニュアル」を掲載していますのでご確認ください。
- ※ 期限を過ぎてのご提出については、受付できませんので、時間には余裕をもってご提出をお願いします。

5 選考方法

1) 第1次選考 (書類選考)

- ・応募書類により書類選考を行います。
- ・令和8年10月下旬頃に選考結果及び第2次選考日程等を記した書面を発送します。

2) 第2次選考 (面接及び模擬講義)

- ・令和8年11月4日～6日に職業能力開発総合大学校（東京都小平市）において、面接及び模擬講義を実施します。
- ・なお、模擬講義の概要は「別紙」を参照してください。
- ・具体的な日程及び内容については、第1次選考の合格通知に合わせてお知らせします。

3) 第3次選考 (幹部面接)

- ・令和8年12月上旬頃に当機構本部（千葉県千葉市美浜区）にて、幹部面接を実施します。
- ・具体的な日程及び内容については、第2次選考の合格通知に合わせてお知らせします。

- ※ 第2次選考及び第3次選考は、それぞれ第1次選考及び第2次選考の合格者を対象として実施します。
- ※ 受験等に要する交通費、宿泊費等は自己負担となります。
- ※ 選考日程は現時点の予定であり、多少前後する場合がありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
総務部人事課人事第四係 久保、山本
TEL.043-213-6126,6127
E-mail saiyou@jeed.go.jp

模擬講義の実施について

1 模擬講義について

(1) 講義内容

「電気設備工学」

(2) 実施方法

模擬講義では、下記2〔講義項目〕の「4. (5) 電力計測機器」、「5. (6) 過電流継電器の機能と特徴、設定方法、点検方法」、「10. (3) 電気方式と電圧降下、電力損失」または「16. (1) 省エネルギー化に用いられるパワーエレクトロニクス機器の概要」について、受験者自身がどれか一方を選択し、準備したパワーポイントを使用して、10分程度の模擬講義の実演を行い、実演後に質疑応答（10分程度）を行います。

(3) 模擬講義環境

会場には、プロジェクタ、スクリーン、PC（投影用）、レーザポインタ、ホワイトボード、模擬講義用資料（パワーポイント印刷物）を準備します。

試験官を学生と想定して授業を進めてください。ただし、試験官は発言や質問への回答は行いません。

2 講義内容「電気設備工学」について

〔目的〕 電気を安全に安定して供給するには、電気需要家の電気設備・機器の構造や役割を知る必要がある。また、電気エネルギーを安全に効率よく受電し、管理・運用するためには電気設備を理解して、十分な知識を持つことが必要となる。本講義では電気技術者として必要な電気設備の知識を、電気理論の基礎知識を用いながら設備全般の機器や役割を理解できることを目的とする。

〔概要〕 「4. (5) 電力計測機器」では、VT, CT, (VCT) の動作原理と取り扱い等について理解し、説明できるようになることを目的とする。

「5. (6) 過電流継電器の機能と特徴、設定方法、点検方法」では、過電流継電器の種類と動作原理について理解し、設定や点検ができるようになることを目的とする。

「10. (3) 電気方式と電圧降下、電力損失」では、電気方式の種類と特徴及び電圧降下と電力損失の算出方法について説明できるようになることを目的とする。

「16. (1) 省エネルギー化に用いられるパワーエレクトロニクス機器の概要」では、電気設備に用いられるパワーエレクトロニクス機器の種類と動作原理について理解し、説明できるようになることを目的とする。

〔講義項目〕

1. ガイダンス シラバスの提示と説明、管理の意義、電力管理関係法規
2. 受配電設備の構成 (1) 配電形態と電気方式
3. (2) 高圧受電設備の構成と図面（スケルトン図）の見方
4. (3) 受電方式と特徴、(4) 引き込み口機器、(5) 電力計測機器
5. (6) 過電流継電器の機能と特徴、設定方法、点検方法 (*内容を絞っても良い)
6. (7) 地絡継電器の機能と特徴、設定方法、点検方法
7. (8) 変圧器の結線、試験方法、(9) 力率改善用機器
8. 負荷設備 (1) 動力設備、(2) 照明設備
9. 幹線の設計 (1) 許容電流と電線太さ、(2) 過電流遮断器の選定
10. (3) 電気方式と電圧降下、電力損失
11. (4) 分岐回路の設計
12. (5) 短絡電流計算、地絡電流計算
13. (6) 需要率、不等率、負荷率
14. 自家発電設備と省エネ設備
(1) 小出力発電設備と自家発電設備、(2) コージェネレーションシステム
15. 過電圧・異常電圧保護 (1) 避雷設備、(2) 避雷設備
16. エネルギー管理と省エネ (1) 省エネルギー化に用いられるパワーエレクトロニクス機器の概要
17. (2) 保守とリニューアル (3) 省エネルギー対策と電気設備
18. 期末試験